



6月園だより

2021年6月
尚徳福祉会
沼袋西保育園
園長

子ども自身の伸びる力を信じる

主婦の友社 0~3歳脳力を育てる好奇心を引き出す
東京大学名誉教授 汐見 稔幸 氏

子どものすることに 感動できますか

私は父親として育児にそれなりにかかわってきましたが、そんな中で「子どもってすごいな」と感動したことが何度もあります。

たとえば長女がはじめてはいはいができるようになったところのことです。部屋にティッシュペーパーの箱があるのを見つけ、そこまで行こうと必死になってはっていきのです。少し手伝ってやると、ようやくそこまでたどり着けて、ちょっと紙に手を伸ばしたら、すっと一枚抜けたので、彼女はびっくりした様子でした。「あれっ」という顔をしたかと思うと、どンドン紙を引っぱり出して、とうとうカラッポにしてしまったのです。

これを見ながら、私は「すごい!」と思いました。大人になったらこんなことはできません。「おもしろい」と思ったら、何がなんでもやろうとする、やり始めたらとことんやる、そんな力は大人にはなかなか持てそうありません。

こんなこともありました。歩けるようになると、よくいっしょに散歩に行ったのですが、娘は階段が好きで、わざわざ大回りしてでも階段のあるところを通りたがるのです。そして、階段を上り下りできるようになると、手をつないだまま1段ピョンと跳びおります。じょうずにできると、また戻ってきてピョンと跳ぶ。これを何回も何回も繰り返すのです。そして繰り返しているうちに跳び方が見る間にじょうずになって、翌日は2段跳んでみようとする。この光景を見たときも、すごいなと思いました。

こんなふうに、子どもはちょっとできるようになると、さらに上を目指してどンドンチャレンジしていきます。こういう力が子どもの伸びる力なのだと思います。

伸びる力を確かめられると 自信がつく

親がその子らしい伸び方を見つけて、それに共感し、あたたかく見守ってやると、それだけで子どもはずんずん伸びていきます。仮に、親が一生懸命に誘いをかけても、子どもの興味のないことだとうまく乗ってくれないので、お母さんは自信をなくしてしまいます。しかし、子どもが興味を発見し、それに親が共感してやると、子どもはいつの間にか伸び伸びと育っていくので、お母さんは自分の育児に自信を持つことができます。

その結果、子どもの見え方も変わってきます。子どもには大人にないものがあるのか、へえ、こ

んなふうに子どもは見えるのかとか、新しく発見できるものばかりですから、いままでは重荷だった育児が楽しくなってくるのです。そうすると、育児が楽になって、自信も出てくるでしょう。

考えてみれば、子どもにとっては世の中のことすべてがはじめて経験することばかり。たとえば、はじめて雪を見たとき、さわったときの子どもの驚きと感動。親はそれを見て自分も驚き、感動するでしょう。親になるということは、その「はじめて」の感動をもう一度味わえるということです。子どもを育てる喜びはこんなところにもあると思います。

「いい子」にしなくてもいい

赤ちゃんが生まれると、親はだれでも、こんな子にしたい、こんな子だといいな、という理想像を描くと思います。育児期間は、その姿に少しでも近づけようと悪戦苦闘する日々かもしれません。でも、親の期待に反して、たいていの赤ちゃんは親の望むようには伸びてくれません。そのかわり、どの子も一人一人個性的な伸び方をします。しかし、どの親でも自分の期待をそんなに簡単にはあきらめきれないものです。私も親の実感としてそう思います。

そのために子どものほんとうの姿が見えにくくなります。その子のいちばんいいところを見ようとしなくて、苦手なことを強要したり、親の思うように育たないということで否定的評価を下りたりしがちです。このような親子関係は、親にも子にもストレスの原因になってしまいます。

また、子どもが親の期待にこたえようとして、自己主張もできずに成長すると、小さいときは「いい子」でも、大きくなったときに困った問題が起こりがちです。

このようなことにならないためには、子どもに親の理想像を押しつけないようにしなくてはなりません。「いい子」ではなくても、どの子もみんな魅力に満ちた個性の持ち主なのでから。

親の期待はとても欲張りです。赤ちゃんのころは、健康であればと思っていたものが、友だちと遊ぶようになればリーダー的になってほしいとか、スイミングに行くようになれば運動神経もすぐれてほしいとか、ピアノもじょうずになってほしいとか、学校に入れれば勉強もできてほしいと思います。

でも、現実にはそんなサイボーグのような子はいません。あまりにも過大な親の期待で、子どもの心を押しつぶしてしまわないようにしたいものだとつくづく思います。

☆6月の予定☆

- 1日(火) 避難訓練
 - 2日(水) 幼児身体計測
 - 3日(木) 乳児身体計測
 - 8日(火) 危機管理訓練
 - 10日(木) 夏前健診(幼児)・0歳児健診
 - 24日(木) 夏前健診(乳児)・0歳児健診
 - 28日(月) サッカー教室(ゆり組)
- ※7日・14日・21日の各月曜日、英語であそぼう(幼児)

☆7月の主な予定☆

- 1日(木) 避難訓練
 - 7日(水) 七夕の会
 - 8日(木) 幼児身体計測・0歳児健診
 - 9日(金) 乳児身体計測
 - 16日(金) 夏まつり
 - 26日(月) 0歳児健診
- ※5日・12日・26日の各月曜日、英語であそぼう(幼児)

☆お知らせ・お願い☆

○登降園の際は保護者様のマスクの着用、手指消毒を、お子さまは登園後すぐに手洗いをお願いいたします。また、園内での滞在時間の短縮にご協力いただき、密を避けお迎え後は速やかに降園をお願いいたします。
○ご家族でPCR検査を受けられる方がいる場合は園にお知らせくださいますようお願いいたします。

○6/8の危機管理訓練は野方警察署のご協力をいただき、不審者侵入を想定した訓練を行います。
○10・24日は夏前健診です。なるべくお休みのないようご協力よろしくをお願いいたします。

○
○

○6/28(月)はゆり組サッカー教室を行います。東京都サッカー協会より、講師の方に来ていただきます。(緊急事態宣言が発令中は中止となります。)

○暑い日にはシャワーや水遊びを行い、快適に過ごしてまいります。準備方法につきましては各クラスごとにお知らせいたします。

○
○

○9/25(土)に予定しております運動会の予備日(雨天時)を10月2日(土)に設定しております。よろしくをお願いいたします。